

団体名		公益財団法人武蔵野市国際交流協会			
① 業 容	指 標 名	在住外国人支援事業への外国籍市民参加促進		目 標 値	外国人支援事業への外国人の参加者拡大（対前年度増）
	過 去 の 実 績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	（過去の実績についての説明）
	（単位：人）	1,308	1,559	749	MIA外国人支援事業にかかる外国人の延べ参加者数
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目		（2）事業評価の導入と事務事業の見直し		
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 新型コロナウイルス感染拡大を受け、外国籍市民支援事業の需要はより高まっている。ニーズに応え参加者を拡大することで、多文化への理解を深め、支援内容のさらなる強化につなげるため。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 （1）支援事業をZOOMを取り入れたリモート参加及び現場開催を併用した「ハイブリッド方式」で実施し、コロナ禍においても参加しやすい環境を整える。 （2）日本語教室など（保育含む）現場開催のニーズが高いものに応えるため、より広い会場での開催を行う。 （3）市が実施する外国籍市民意識調査に協力するとともに、MIAに関心を持ってもらえるよう工夫する。				
② 財 務	指 標 名	収支相償及び流動比率の適正化		目 標 値	収支相償の適正化と流動比率を300%程度とする
	過 去 の 実 績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	（過去の実績についての説明）
	（単位：%）	321.7	391.2	636.7	収支相償と流動比率（内部留保）の適正化が公益認定委員会より指摘されていた
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目		（1）経営健全性の確保		
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 公益認定の維持に、毎年度ごとの決算における収支相償の適正化と流動比率の安定化を図る必要があるため。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 （1）公益目的事業会計における収支相償及び流動比率の中長期的な適正化を図るため、予算編成時及び予算執行時の収支バランスを注意深くチェックしていく。 （2）補助金の清算等について市と協議する。				
③ 内 部 管 理	指 標 名	MIA事業へのボランティアの参加促進		目 標 値	ボランティア登録者数の拡大（対前年度増）
	過 去 の 実 績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	（過去の実績についての説明）
	（単位：人）	364	370	268	語学ボランティア、日本語交流員、留学生ファミリーの合計
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目		（6）組織・職員数等の適正化と目的・目標に向けた効率的運営の推進		
	設 定 理 由 等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 MIAの事業は、会員ボランティアが運営を担っており、職員はそのコーディネートを行っている。限られた職員数で充実した事業を行うためには多様な人材の活用が必要のため。			
取 組 内 容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 （1）ボランティア説明会とボランティア養成講座を開催し、新規ボランティアの登録を増やす。 （2）説明会、講座とも対面による方法・リモートによる方法など、様々な手法を使い参加しやすい仕組みを取り入れる。				